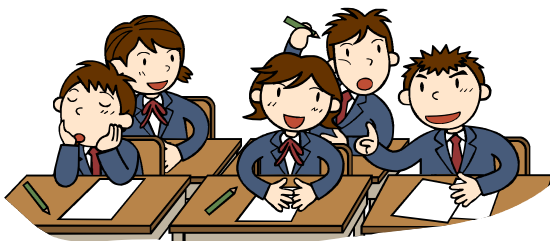


# ふれあいプログラム

授業に生かす好ましい人間関係の育成



「人間関係形成能力育成プログラム」I-11

## 『授業に生かす好ましい人間関係の育成』

### ステップ1 「自分再発見」(よさを認め伝え合う)

ねらい:【自己理解・他者理解】

友達とよさを見つけ合うと同時に自分のよさを知る

内 容:ジョハリの窓の考え方と付せん紙を利用する

### ステップ2 「教室はどこだ」(情報を聴き合う)

ねらい:【情報活用能力・情報編集能力の育成、対話的コミュニケーションの育成】「聴き方」「話し方」を意識しながら情報を共有し、協力して課題を解決する

内 容:グループで協力して課題を解決する

### ステップ3 「みんなでカウンセリング」(気持ちを伝え合う)

ねらい:【共感的態度の育成、かかわりから学ぶ】

友達の頑張りや悩みを聴き合い、アドバイスをしながら気持ちを伝え合うことができる

内 容:学習についてアドバイスをし合う

### ステップ4 「教科授業:数学 1次方程式」

(知識・考え方を学び合う)

ねらい:【かかわりから学ぶ(教科授業での実践)】

内 容:問題解決に必要な条件を読み取ったり、グループで考えを交流することから問題解決のヒントを得たりしながら方程式を使って問題を解く

## 『日常での実践』 「振り返りカード」の記入

ねらい:「人とのかかわりから学ぶ」活動の意識化・日常化

内 容:帰りの会において、3つの観点で1日を振り返る

「人間関係形成能力育成プログラム」I-II  
「ふれあいプログラム」

## 『授業に生かす好ましい人間関係の育成』

◎指導計画〔学級活動3時間（+数学1時間）、帰りの会5回 予定〕

学習過程	活動時間	ねらい	活動内容
学級活動1 (ステップ1)	学級活動	○お互いのよさを見つけ合う活動を通し、他者を理解すると共に自己を理解する	「自分再発見」 お互いの長所を見つけ合い、自分のよさについて考える
学級活動2 (ステップ2)	学級活動	○情報をもとにコミュニケーションを図り、聴き合うかわりをもたせる	「教室はどこだ」 お互いの情報を聴き合いながら、協力して課題を解決する
学級活動3 (ステップ3) 【事前学習】	朝の会 帰りの会	○学級活動3の意見交流のための準備（ワークシートの記入）	それぞれが普段の学習の様子、中間テストの結果などを振り返り、工夫していること、うまくいかないことなどをワークシートにまとめる
学級活動3 (ステップ3)	学級活動	○聴き取ったことに対し、自分の考えや気持ちを伝え合う	「みんなでカウンセリング」 頑張っていること、悩みについて意見や考えの交流をする
数 学 (ステップ4)	数 学	○意見や考えを交流することにより、問題解決や学習内容の理解を深める	「1次方程式の利用」 1次方程式を利用して問題を解く
日常での実践	帰りの会	○人とのかわりから学ぶことの日常化を図る	「振り返りカード」の記入 3つの観点から、自分を振り返る

◎展開

1 学級活動ステップ1「自分再発見」

- 1 ねらい 友達のよさを見つけ伝え合うことから、友達のよさを認めると同時に、自分のよさを知る
- 2 準備 ワークシート3枚 付せん紙(赤・黄色・青) 掲示用模造紙
- 3 本時の展開 (5～6人の班で活動)

	学 習 活 動	時 間	指導上の留意点・支援 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">評価項目</span>
導 入	<p>【アイスブレイキング】</p> <p>○バースデーリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を交わすことなく、生年月日の順に並ぶ。</li> </ul>	8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかな雰囲気をつくるため、順序が違っていても問題ではないことを伝える。</li> <li>・言葉を交わさなくても並べたことを賞賛すると共に、言葉を使えばもっとコミュニケーションが図れることを伝え、授業の目当てにつなげる。</li> </ul>
	<p>1 授業の目当てを知る</p> <p>○これからの学級活動の目当てを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活をおくる上で、友達からお互いに学び合うことの大切さを理解する。</li> <li>・コミュニケーションの基本である「聴く」「話す」の重要性を知る。</li> </ul> <p>○今日の授業の目当てを知る</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">自分のよさや友達のよさを知ろう</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中や休み時間など、学校生活をより楽しく充実させるためには人と上手にかかわることが必要であることを伝える。</li> <li>・人とかかわることでお互いに学び合うことができることを意識させる。</li> <li>・自分でも気付いていないよさがあることを伝え、目当てに対する意欲をもたせる。</li> </ul>
展 開	<p>2 自分が思う自分のよいところと、学校生活の中で気付いた友達のよいところを付せん紙に書く(5～6人グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの説明を聞く。</li> <li>・ふだんの学校生活を振り返り自分のよさと友達のよさを考え、言葉を選び、付せん紙に書く。</li> </ul>	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明を聞くときは話す人の方向に体を向け、しっかり聴くことを指導する。</li> <li>・だれにでもよいところがあることを伝える。</li> <li>・ワークシートにぴったりくる言葉がない場合は他の言葉でもよいことを伝える。</li> <li>・自分や友達のよいところが書けない生徒には、「字がうまい」「足が速い」など具体的な内容でもよいことを伝える。</li> <li>・時間を8分に制限し、思い付いたものを素早く書かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>○自分のよいところや、友達のよいところを見付けることができる。</p> <p style="text-align: right;">(付せん紙)</p> </div>
	<p>3 付せん紙を貼る</p> <p>○「ジョハリの窓」について知る</p> <p>○順番に選んだ言葉を書いた付せん紙を貼っていく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が思う自分のよいところを「自分が知っている」の場所に貼る。 (付せん紙：赤)</li> <li>・お互いに友達のよいところを「友達が知っている」の場所に貼る。 (付せん紙：黄色)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョハリの窓の4つの窓について理解させる。</li> <li>・付せん紙を貼るときはその言葉を読み上げ、3枚のうち1枚は学校生活で見たり、感じたりした友達のよい行動を説明しながら貼っていくよう指導する。</li> <li>・話している人の方を向き、しっかり聴くことを指導する。</li> </ul>

	<p>4 付せん紙を移動させ、自分のよいところについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ジョハリの窓」の考え方に基づいて付せん紙を移動させていく</li> <li>・自分は知っているけど友達知らない。</li> <li>・友達は知っているけど自分は知らない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○付せん紙から自分のよいところをまとめる</li> <li>・自分にはどんなよいところがあるのか、今後さらに伸ばしていくためにはどうしたらよいのかを考える。</li> <li>○なりたい自分について考え、青の付せん紙に記入する 「自分も知らないし、友達も知らない」の場所に貼る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付せん紙の動かし方を掲示用模造紙で説明する。分からない生徒にはグループで協力をさせる。</li> <li>・自分のよさを認識すると同時に、自分にも分からない自分のよさがこれから見つかる可能性があることを伝える。また、自分のよさや友達のよさに興味をもたせる。</li> <li>・「自分は知らないが友達は知っている」の窓は、自分のよいところであることに気付かせる。</li> <li>・「自分も知らないし友達も知らない」の窓は、これからの自分の行動次第でよいところが増えていく可能性があることを伝える。</li> <li>・本当はこんな性格になりたい、こんな人になりたいなど、ふだん感じている「なりたい自分像」を考えさせる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○自分のよいところを知り、よいところをさらに伸ばしていくための方法を考えている。(ワークシート)</p>
<p style="text-align: center;">終 末</p>	<p>5 今日の活動を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の活動で「気付いたこと、感じたこと、学んだこと」などを自由に班で出し合う</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">}</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思った以上に自分にはよいところがたくさんあることが分かった。</li> <li>・自分でも気付いていないよさがあることが分かった。</li> <li>・友達によいところを言ってもらってうれしかった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートに今日の授業の感想を記入する</li> <li>○教師の話聴く</li> <li>・自分のよさを生かすこと、相手のよさを認めることにより、お互いによさを伸ばしていけることを知る。</li> </ul> </div>	<p style="text-align: center;">7 分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を振り返り、気付き、感情、学びの共有化、分かち合いをさせる。</li> <li>・一人30秒程度で、順番に班の全員が発表していく。</li> <li>・話している人の方を向きしっかり聴くことを指導する</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○自分の思いを発表することができ る。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思っていたよさや友達から聞いたよさを認識する。</li> <li>・自分のよさをより伸ばしていけるように、よさを生かせる学校生活での具体的な場面を説明する。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">*「振り返りカード」の活動につなげる</p>

4 教科授業 ステップ4：数学「1次方程式の利用」

数 学 科 学 習 指 導 案

- 1 ねらい カレンダーの数字の並びに関する条件（情報）を読み取り問題を解決することを通して、方程式を使って問題を解決するための考え方と手順を理解する
- 2 準備・資料 学習プリント 掲示用図
- 3 本時の展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点・支援 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">評価項目</span>																																			
<p>1 カレンダーの数字の並びの規則性について理解する</p>	7分	<p>○問題を理解しやすいようにカレンダーを提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>問題：ある月の16日は水曜日でした。 ①～⑧は何日ですか。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="7">〇月</th> </tr> <tr> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑤</td> <td>①</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>③</td> <td>16</td> <td>④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑥</td> <td>②</td> <td>⑧</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>○数字の規則性を理解し、求めたい数字と基準の数字との関係を知る</p> <p>○問題を解決する</p> <p>① <math>16-7=9</math>      答え 9日</p> <p>② <math>16+7=23</math>    答え 23日</p> <p>    ~</p> <p>⑤ <math>16-7-1=8</math>    答え 8日</p> <p>    ~</p> <p>⑧ <math>16+7+1=24</math> 答え 24日</p> <p>○数字の入っていないカレンダーを使い、指定した日付の周りの日付を考えることによりカレンダーの数字の規則性に気付かせる。</p> <p>○①に入る数字は「先週の水曜日は何日ですか？」</p> <p>○②に入る数字は「来週の水曜日は何日ですか？」という聞き方で質問することにより、問題の意味を読み取りカレンダーの規則性を意識できるようにする。</p> <p>○問題となる数字は、基準となる16に対しどのような計算をしたかを明らかにすることにより、求めたい数字と基準の数字との関係を理解させる。</p> <p>①先週の水曜日：一週間前は7日前だから-7</p> <p>②来週の水曜日：一週間後は7日後だから+7</p> <p>③昨日は1日前だから-1</p> <p>④明日は1日後だから+1</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【関】【知】基準となる数字から、目的の日付を求めることができる。(観察)</p> </div>	〇月							日	月	火	水	木	金	土			⑤	①	⑦					③	16	④					⑥	②	⑧		
〇月																																					
日	月	火	水	木	金	土																															
		⑤	①	⑦																																	
		③	16	④																																	
		⑥	②	⑧																																	
<p>2 問題文から問題解決に必要な条件（情報）を読み取り、数字の並びの規則性から問題を解決する</p>		<p>○生徒にとって身近な生活記録の日記の文を使い、意欲的に問題に取り組めるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">今日の振り返り    10月 ● 日(●)    天気(晴れ)    [ 赤城 太郎 ]</p> <hr/> <p style="text-align: center;">今日はほくの誕生日だったので、お母さんがケーキを買ってきました。とてもおいしかったです。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">1週間前に終わったテストの結果もよかったので、日曜日におばあちゃんから何かプレゼントを買ってもらう予定です。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">それにしても昨日のマラソン大会は順位がよくなかったのがっかりです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>問題 太郎君の誕生日は何日でしょうか？</p> </div> <p>(1) 予想を立てる</p> <p>○日記の文を読み、この条件だけでは解決できないことに気付かせる。</p> <p>○さらにどんな条件があれば問題を解決できるかを考えさ</p>																																			

<p>(2) 問題の条件 (情報) を追加する</p>	<p>1 5 分</p>	<p>せる。          予想される解答例          ・テストの日→ (テストの日) 一週間前+7だから          ・マラソン大会の日→ (マラソン大会の日) 昨日+1だから          ・今日の日付→誕生日は今日だから</p>
<p>追加文 テストの日の日付とマラソン大会の日の日付の和が38になる。</p>		
<p>(3) 問題を解決する          ・誕生日の日 (今日) を <math>x</math> 日とする。  <math>(x - 7) + (x - 1) = 38</math>  <math>x = 23</math>          答え 23日</p>		<p>○必要に応じて追加された条件を使うために、問題文の必要とされる条件 (情報) をもう一度確認する。          ・誕生日の日の日記であること          ・誕生日の1週間前はテストの日であること          ・誕生日の前日がマラソン大会の日であること          ○学級活動2の班活動を想起させ、問題から問題解決に必要な条件 (情報) を読み取ることが大切であることを伝える。          ○生徒の解決方法を見て問題解決のために方程式を使うことを助言する。</p>
<p>(4) 班で解き方を発表し合う          自分の考え方を筋道立てて相手が理解できるように説明をする          〈予想される解答例〉          ○具体的に加えると38になる数字をカレンダーの位置関係からさがす          ○方程式を使って答えを求める</p>	<p>1 2 分</p>	<p>○班でそれぞれの考え方を発表し合い、考え方を共有する。          ・相手の考えを理解するために聴き方に注意をさせる。</p>
<p>(5) 解き方を発表する</p>		<p>○方程式を使った解き方を意図的に紹介し、その手順を順序よく説明させる。</p>
<p>3 方程式を使った解き方の手順を理解する          (1) 問題にしたがって、方程式を使った解き方を確認する          (2) 方程式を使った問題を解く手順をまとめる</p>	<p>1 3 分</p>	<p>○具体的にカレンダーに印を付けながら、解き方を確認していく。          ①誕生日の日を <math>x</math> 日とする。          ②テストの日は <math>x - 7</math> 日、マラソン大会の日は <math>x - 1</math> 日と表せることを確認する。          ③ (テストの日) + (マラソン大会の日) = 38 という、等しい数量関係から方程式を立式する。          ④方程式を解く。          ⑤答えとしてよいことを確認する。          ○誕生日の日を <math>x</math> でおくことにより方程式が立式でき、問題を解くことができるよさに気付かせる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">【知】方程式を解く手順を理解し、方程式を使って問題を解くことができる。(学習プリント)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈方程式を使った問題を解く手順〉              ①求める数量を明らかにし、何を <math>x</math> にするかを決める (求めたい数量を <math>x</math> とする)              ②必要な数量を <math>x</math> を使って表す              ③等しい関係にある数量を見つけて方程式をつくる              ④方程式を解く              ⑤その解を問題の答えとしてよいかどうかを確かめ、答えを決める</p> </div>
<p>5 学習を振り返る          ○自己評価をする</p>	<p>3 分</p>	<p>○今日の学習を振り返り自己評価をさせる。          ○残りの練習問題は宿題とする。</p>

5 「振り返りカード」について

- 1 ねらい 人とかかわりから学ぶことの大切さを理解させその日常化を図る
- 2 準備 ワークシート（振り返りカード）
- 3 実践 「帰りの会」

○活動内容

「人とかかわりから学ぶ」ということを意識させるため、「相手のよさを見つける」「自分のよさを発揮する」「お互いのよさを高める」という3つの観点から「振り返りカード」の記入を行う

◇第1日目

導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート：振り返りカード『人のふり見て我がふり直せ』人から学ぼう！』を配布する</li> <li>○今までの学活の授業を振り返り、次のことを確認する 学級活動1：人にはそれぞれよいところがたくさんあること 学級活動2：友達と協力することにより、一人ではできないこともできること 学級活動3：意見を交流することにより、考えを共有したり新しい考えが見つかること</li> <li>○ことわざ「人のふり見て我がふり直せ」について 友達の行動を参考に自分の行動を見直すことができることや、さらに自分を成長させることができることを知らせる</li> <li>○目標を立てる 学級活動1を振り返り目標を立てる</li> </ul>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「友達のよさを見つける」「自分のよさを発揮する」「お互いのよさを高める」という3つの視点から、今日1日の行動を振り返る</li> <li>○3つの観点がお互いに作用し合うことを伝える 「自分のよさを発揮する」→「友達のよさを見つける」→「お互いのよさを高める」 ①自分のよさを発揮することにより→友達がそのよさを見つける→そのよさを見つけた友達はそのよさを自分にも取り入れようとする→②よさを発揮する→よさを見つける→よさを高める→このサイクルができることが理想であることを伝える</li> <li>○ワークシート：「振り返りカード」に記入をする</li> </ul>
終 末	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんながよさを発揮することがこの活動の基になることを伝え、明日の行動への意欲とする</li> <li>○学級活動1で友達から出してもらった自分のよさを思い出し、明日はそのよさを発揮できるよう助言する</li> <li>○活動を重ねるごとに記入できるようになっていくことをねらいとする 1日目に記入できない生徒には明日「自分のよさを発揮する」の欄だけでも記入することができるように励ましの言葉をかける</li> </ul>

◇2日目、3日目以降

- 学校生活を振り返り3つの欄すべてに記入できるよう指導していく。
- 他に関心をもち、かかわりから学ぼうとする気持ちが大切であることを理解させ、日常の学校生活にそのような視点をもつことができているかを振り返らせる。毎日すべての欄が埋まらなくてもよいことを伝える。

◇1週間続けて実施する



# 「自分再発見」

## 自分でどんな人？ 自分のよさや、友達のよさを再発見しよう！

あなたは本当に自分のよいところを知っていますか？自分では気付いていないけれど、周りの人が気付いているよさもあるかもしれません。今日は、みんなのよいところをじっくり探してみましょ。

◎自分で思う「私の特性」(よいところ)を、下の表の言葉から選んで赤い付せん紙に3つ書きましょ。表にない言葉や具体的な内容でもよいことにします。

◎班のメンバーの特性(よいところ)を、下の表の言葉から選んで黄色い付せん紙に3つ書きましょ。表にない言葉や具体的な内容でもよいことにします。

なぜその言葉を選んだのかあとで理由を言ってもらうので、考えておいてください。

(例) 責任感のある…係の仕事をいつも忘れずにやっています

意欲的な…授業中積極的に手を挙げているから

おもしろい…いつもおもしろいことを言って笑わせてくれるから

やさしい ユーモアのある 冷静な 誠実な 公平な まじめな  
 親切な 思いやりのある 明るい 個性的な おもしろい 正直な  
 注意深い 根気強い 社交的な あたたかい 活発な 勇敢な  
 元気な 積極的な たくましい 責任感のある 意欲的な 愛想のよい  
 努力家 心が広い 落ち着いた きどらない エネルギッシュな  
 頼りがいのある 正義感のある リーダーシップがある 敏感な

足が速い 字がうまい 掃除をまじめにする (勉強)ができる

班のメンバー(名前)	私が選んだメンバーの特性		
自分			

「ふれあいプログラム」 ステップ1

年 組 番 名前

◎付せん紙を貼りましょう

4つの窓にそれぞれの付せん紙を貼っていきます

- ・まず、自分が知っているよいところ(赤い付せん紙)を、左半分に張ります
- ・次に、順番に友達のよいところ(黄色い付せん紙)を、上半分に張ってもらいましょう
- ・付せん紙を移動させます
  - ・赤い付せん紙…自分は知っているけど友達は知らない→下にずらす
  - ・黄色い付せん紙…友達は知っているけど自分は知らない→右にずらす

		自 分 が	
		知っている	知らない
友 達 が	知 っ て い る	◎自分も友達も知っている <b>自他共に認める あなたの長所です！</b> 黄色い付せん紙	◎自分は知らないが、友達は知っている <b>必ず自分のよいところに なります！</b>
	知 ら な い	◎自分は知っているが、友達は知らない <b>自分を表現してみよう！</b> 赤い付せん紙	◎自分も知らないし、友達も知らない <b>未知の世界です あなたにはまだまだ気付いて いない面があります</b>

みんなの意見をまとめると  
私のよいところは




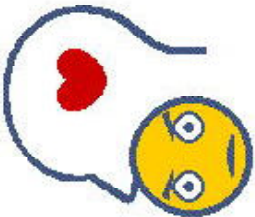


です。

よいところを学校生活で生かすためには

と思います。

《感想》

		自分が	
		知っている	知らない
友達が	知っている	 <p>自分も友達も知っている [開いている窓]</p>	 <p>自分は知らないが、友達は知っている [気付いていない窓]</p>
	知らない	 <p>自分をもっとアピールしよう [隠れている窓]</p>	 <p>付せん紙:青 こんな人になりたいな [誰も知らない窓]</p>

今日の振り返り	10月 ● 日(●) 天気(晴れ) [ 赤城 太郎 ]
<p>今日はぼくの誕生日だったので、お母さんがケーキを買ってきました。 とてもおいしかったです。 1週間前に終わったテストの結果もよかったので、日曜日におばあちゃんから何かプレゼントを買ってもらう予定です。 それにしても昨日のマラソン大会は順位がよくなかったのでがっかりです。</p>	

【生活記録より】

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

問題	太郎君の誕生日は何日でしょうか？
----	------------------

追加条件
------

【解き方】	
-------	--

## 「1次方程式の利用」

### 方程式を使った問題を解く手順

- ①求める数量を明らかにし、何を $x$ にするかを定める  
(求めたい数量を $x$ とする)
- ②必要な数量を $x$ を使って表す
- ③等しい関係にある数量を見つけ方程式をつくる
- ④方程式を解く
- ⑤その解を問題の答えとしてよいかどうかを確かめ、答えを決める

◎方程式を使って解きましょう

#### 問題1

1本80円のえんぴつを8本と、1個120円の消しゴムをいくつか買ったら、  
ちょうど1000円でした。買った消しゴムの個数を求めなさい。

(図や表で表そう)

#### 問題2

何人かの子どもにみかんを6個ずつ分けようとしたら、7個たりなかった。  
そこで、4個ずつ分けたら、5個余った。子どもの人数を求めなさい。

(図や表で表そう)

今日の学習を振り返って

# 振り返りカード

年 組 番 名前

## 「人のふり見て 我がふり直せ」 人から学ぼう！

みなさんの周りには、いろいろな人がいます。今までの授業で行ったことを思い出してください。人にはそれぞれよいところがたくさんあります。また、友達と協力すると、一人ではできないことが可能になります。みんなのよいところを認め、そしてよいところはみんなで共有しましょう。

### 「人のふり見て 我がふり直せ」

(意味) 「他人の言動の善悪を見て、自分の言動を改めよ」

#### こんな時どうする？

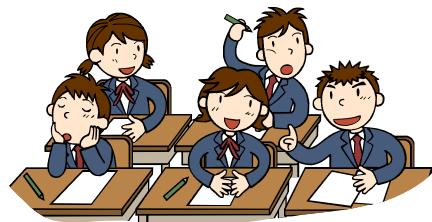
☆人のよい所を見て、



嫉妬する、ケチをつける



自分も見習う、自分もやってみよう、尊敬する



☆人の悪い所を見て、



非難する、バカにする



自分の言動を振り返る、自分はそうならないように気をつける

人の行いを参考にして、自分をより成長させることができればいいのではないのでしょうか。自分をよりよく成長させたいという気持ち(向上心)をもっていれば、人とのかかわりからたくさんのが学べるでしょう。

お互いに自分のよさをさらに伸ばせるような、そんなクラスにしていきたいですね。

### 振り返りの視点

授業中や掃除中、係や給食などの当番活動など、こんな場面はありませんでしたか。

#### ○友達のよさを見つける

- ・授業中、○○君のよい考え・意見を聞いた。おかげで分かった。
- ・授業中、○○さんが問題の解き方を説明してくれた。
- ・掃除中、○○君が、一生懸命掃除をしていた。
- ・○○さんが、△△先生にほめられていた。

#### ○自分のよさを発揮する

- ・数学の時間、みんなの前で問題の解き方を発表した。
- ・国語の時間、意見を発表した。
- ・掃除の時間、進んでゴミ捨てに行った。

#### ○お互いのよさを高める

- ・英語の時間、○○君の発表を聞いて自分も発表した。
- ・理科の時間、○○さんに問題の解き方を聞いて、問題が解けた。
- ・○○君が、家で腹筋をしていると聞いたので、家でやってみた。
- ・社会の時間、班で話し合ったことを発表した。



# 振り返りカード

年 組 番 名前

活動1:「自分再発見」の授業で出された『自分のよいところ』と『よいところを学校生活で生かす』を思い出し、自分なよさを立ててみよう。  
 目標は、みんなのよさを認めよう。

例:

毎日30分漢字練習を続けよう	毎日1冊反復を手伝おう
毎日30分の英単語を覚えよう	毎日1回腕立て30回
毎社の教科書を毎日読み、問題をみく	授業中1回は手を挙げて発言しよう
数字の仕事を忘れない(給食当番など)	大きな声であいさつをよすなど



## 目標

日付	友達のをさを見つける	自分のよさを発揮する	お互いのよさを高める
10 / ( )	授業中・その他 ( )	授業中・その他 ( )	授業中・その他 ( )
	感想	先生から	
10 / ( )	授業中・その他 ( )	授業中・その他 ( )	授業中・その他 ( )
	感想	先生から	

